

# なんもく 山村ぐらし通信

# ようこそ南牧村へ!

## 子供3名含む6世帯13名の方を迎えました!

南牧村公式ホームページ  
<http://www.nanmoku.ne.jp/>  
生活情報～空き家情報

### 空き家調査結果

空き家総数368軒	空き家率21%
即入居可能	28.3%
多少の補修必要	27.2%
大幅な補修必要	20.8%
補修不能	7.8%



路上にうずくまる調査班(打合せ中!)

空き家を再利用する事業としてはじまった「山村ぐらし支援協議会」は、雨ニモ負ケズ雪ニモ負ケズ茹だるような夏の暑さにも負けずとばかりの地道な調査活動を経て、いまま少しずつ移住希望者を受け入れて行けるようになってきたようです。今後更なる活動に住民の皆様のご協力を!

南牧山村ぐらし支援協議会では、村の活性化を目的に、南牧村に移住者を呼び込む活動に取り組んでまいりました。平成23年2月から8月までのおよそ半年間、空き家調査を実施しました。その結果、南牧村の中に368軒の空き家があること、村全体の約21%が空き家になっていることがわかりました。家屋の状態は、住むにあたり「即入居可」が28.3%、「多少の補修が必要」が27.2%、「大幅な補修が必要」が20.8%、「補修不能」が7.8%という状況でした。

※表「空き家調査結果」

平成23年8月には、空き家の所有者の方から登録をいただき、村外の移住希望者の方に空き家を紹介する取り組みを村と連携し始めました。そして空き家バンクと呼ばれるホームページを開設しました。ホームページアドレスは左上囲み内を参照。または「南牧村」でキーワード検索し、トップページより生活情報より空き家情報へ。平成23年度には、ホームページに13,000

件を超える閲覧があり、村の窓口(企画情報課)には、160件を超える問い合わせがあり、小学生のお子さんがいらっしゃるご家族を含め、6世帯13名の方を南牧村に迎えることができました。来

2012(平成24)年5月号  
通巻第1号版(初版号)

発行責任者: 石井 悟  
問合せ 南牧村役場 企画情報課  
電話 0274-87-2011(代表)

紙面編集: 神戸 広  
発行元: 南牧山村ぐらし支援協議会  
代表者: 石井 裕幸



初公開?なんしいちゃん

昨年度村外からの移住希望者を受け入れ、住民の皆様のご理解とご協力を頂き空き家となっていた物件を紹介。引き続き住民の皆様からの協力無くして今後の活動は成り立ちません。住民の皆様のご理解とご協力を必要とじています。

役場企画情報課

## 我・想・明・村

### 南牧村長・市川宣夫さんの「我理想村」

本村は40年以上、ひたすらモデル的ともいえる過疎の道を歩んできました。近年の出生数は4〜5人程度ですが、一方で新シニアが60人程度生まれ少子高齢化はとどまりません。現在高齢化率、少子化率ともに全国第1位のこの村ですが、生きがいがあり、定年のない農村には、これからの難関をクリアしていく力が内在しています。

このような中、空き家を活用した山村体験や田舎暮らしは、本村にとって新しい息吹となり、「南牧山村ぐらし支援協議会」の活躍に大いに期待しています。

### 932年ぶり現象が南牧でも!

5月21日は金環日食!この金環日食は1987年9月23日に沖縄で見られて以来、日本国内では25年ぶりの現象です。さらに本州で見られたものとなる

と、1883年10月31日に北関東から東北南部で見られて以来、129年ぶり。さらにこれほどの広範囲で見られた金環日食となると、西

### 「小食」が「大食」に変わった!

暦1080年以来実に932年ぶりの出来事。これは見逃すわけにいきません!ここ南牧村で金環が始まる時間は午前7時32分56秒。終わる時間は午前7時36分22秒で、3分25秒間続きます。

南牧村での部分日食は、午前6時19分46秒に始まり最大食は午前7時34分39秒。終了時刻は午前9時1分52秒なので、トータル2時間42分6秒間にわたって日食が続きます。南牧村での金環日食が始まる頃、太陽の右側が最も細くなり、最大食の頃になると最も細くなった部分は右下側へ移動します。そして、金環日食が終わる頃には下側が細い状態になります。

時間の経過とともにリングが細くなる方向が次第に変わっていく様子を楽しんでください。

金環日食の始まりと終わりに、太陽の環がとぎれとぎれになって数珠玉のように見えるベイリービーズが見られます。こちらも見逃さないようにしましょう。南牧は金環帯の端の方に位置するため、かなりいびつな太陽リングとなります。ただし、直視は危険なので、専用の日食グラスを使用することをお勧めします。

前協議会事務局・宮下

宇宙科学&土木担当  
特派員・石井 尚幸

# 協議会メンバー紹介・第一弾 (まずは精鋭5名紹介!)

次号でも連載予定!

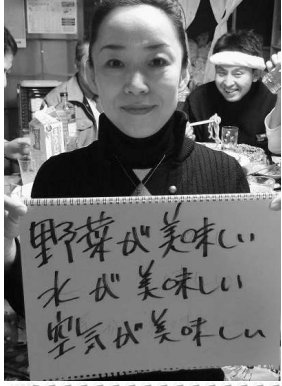


自称「南牧はちまき王子」は喋り続けていると苦しくなるといって、石井林業・石井裕幸さん



和菓子職人・甘い物を作ってますが結構頑固者です。～和菓子処信濃屋・金田鎮之～

女性陣では一番若いのが自慢。オアシスなんもく、食事処「おこっつお家」の女将、今井浩子さん



緑の協力隊でお世話になりました。現在、社会福祉で働いてます。阿部 哲也さん



言葉数は多くありませんが石屋の俵だけに意志が固いと言われます。～石工園・中澤信幸～

## 中山間地域フォーラムに参加して

村内外からの大勢の参加者が見守る中、オープニングにさくら保育園子どもたちの元気いっばいの和太鼓演奏。子どもたちは、いっばい、いっばい、いっばい、と張り切って頑張っていました。子どもたちは、いっばい、いっばい、いっばい、と張り切って頑張っていました。子どもたちは、いっばい、いっばい、いっばい、と張り切って頑張っていました。子どもたちは、いっばい、いっばい、いっばい、と張り切って頑張っていました。

## 南牧村を眺めてみれば...

村の外から見える南牧村の魅力

南牧村と出会って二十五年。南見の時、これこそ日本の原風景だ。牧村の自然を満喫しながら充実した日々を送っている。この村と南牧通いが始まった。この村と南牧通いが始まった。この村と南牧通いが始まった。この村と南牧通いが始まった。

## 昨年度の活動を振り返って

昨年度、空き家対策の一環として7月&1月に東京銀座にある「ぐんまちゃん家」へ村役場・卓庁職員として協議会メンバーでいって来ました。行ってみるとそこでは、若い人からお年寄りまで様々な人が田舎暮らしを真剣に考えていることを知ることができました。



銀座・ぐんまちゃん家にて移住相談会参加!!

とができ、なかには南牧村に非常に興味を持ち、いろいろと調べている人もいました。物件の紹介の中で私たちは、急いで田舎暮らしを決めるのではなく、何度も村に足を運び、村の四季や地域の特徴、地元暮らしの人々など、南牧村に直接触れる機会を持って頂きながら決めていってほしい!と紹介してきました。また、2月には、長野県木島平村に空き家の再生・再利用を研修目的に視察。古民家を改修した「郷の家」という施設を見学したり、実際に移住してきた人の家に行き、地元では「こんなボロ家住める訳ないだろー」という古民家を見事に再生し利用しているお宅を見学させていただきました。都会の人の見方によって、まだまだ使える物はあるんだな」と実感です。移住してきた人の話では、その土地の風土人柄、気候、すべてにおいて魅力を感じているそうです。南牧村もたくさんの魅力があると思いますので、それらを生かしていければな



長野県木島平村・空き家利用を視察!!

## 編集後記

この広報が皆さんのお手元に届くころには、ここの南牧の里も風薫る新緑の季節を迎えていることでしょう。平成22年12月に発足したこの会も早いもので1年と半年が経とうとしています。この活動を通じて42年間住んでいながら知らなかった南牧の姿をたくさん知ることができました。日本一高齢化率が高いと言われている南牧ですが、そこに暮らす皆さんは住みなれたこの地域に愛着と誇りを持って生活しています。これから年を重ねていく自分たち、そして子供たちがここの南牧に愛着と誇りを持って生活していくためには、これからもっと様々な角度から南牧を知っていく必要があると考えさせられた活動でもありました。現在、県内外からも空き家バンクに対し注目、関心が高まっており、まだまだ空き家登録物件数が不足しているのが現状です。終わりにこの活動にご理解ご協力くださったすべての方々に感謝申し上げます。これからもご支援ご協力くださいますようお願いいたします。

編集長 石井悟